

沖縄島北部における世界自然遺産登録に関する住民アンケートの結果

平成 29 年 9 月～10 月にかけて、やんばる地域（沖縄島北部）に住んでいる人を対象に、世界自然遺産への登録に対する意識調査を実施しました。

やんばる 3 村の各字に協力頂き質問票を配布し、配布件数 4,673 件（全戸配布）のうち、462 件（回収率：約 9.9%）のご回答をいただきました。

アンケートにお答えいただいた方の年齢は、60 代の方が多く、50 歳以上の方で約 8 割の回答を占めていました。また、職業は、無職の方が約 22.1%、農業の方が約 20.8%を占めました。（詳細は右表）

<アンケートにお答えいただいた方の特徴（属性情報）>

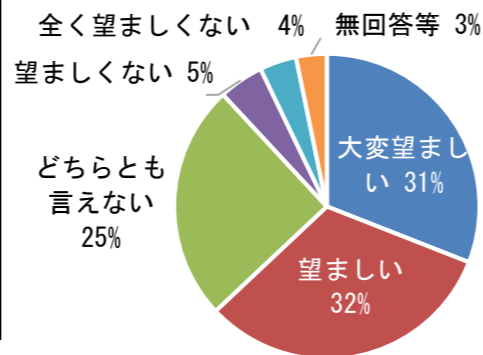
性別	回答数	比率(%)	職業	回答数	比率(%)
男性	218	47.2	無職	102	22.1
女性	207	44.8	農業	96	20.8
無回答等	37	8.0	主婦	77	16.7
年齢	回答数	比率(%)	公務員	27	5.8
10代	3	0.7	建設業・製造業	25	5.4
20代	6	1.3	宿泊業	13	2.8
30代	41	8.9	小売・卸売業	8	1.7
40代	36	7.8	観光業（ガイド以外）	7	1.5
50代	84	18.2	飲食業	6	1.3
60代	179	38.7	教育機関	5	1.1
70代以上	107	23.2	交通・運輸業	4	0.9
無回答等	6	1.3	林業	3	0.6
			観光ガイド	3	0.6
			その他	68	14.7
			無回答等	18	3.9

世界自然遺産に関する認知度・意識

世界自然遺産への推薦については、既に多くの方がご存知で、約 63%の方が世界遺産への登録を好意的に捉えていることが分かりました。一方、世界遺産登録について、「どちらとも言えない」と答えた方が約 25%を占めていました。

(認知事項)	知っていた	知らなかった	無回答等
やんばるが世界自然遺産に推薦された	94.4%	3.2%	2.4%
奄美大島、徳之島、西表島と一緒に世界遺産に推薦された	76.4%	21.4%	2.2%
やんばるの自然に世界的に貴重な価値がある	89.6%	8.2%	2.2%

やんばる地域が世界遺産になることについてどう思うか

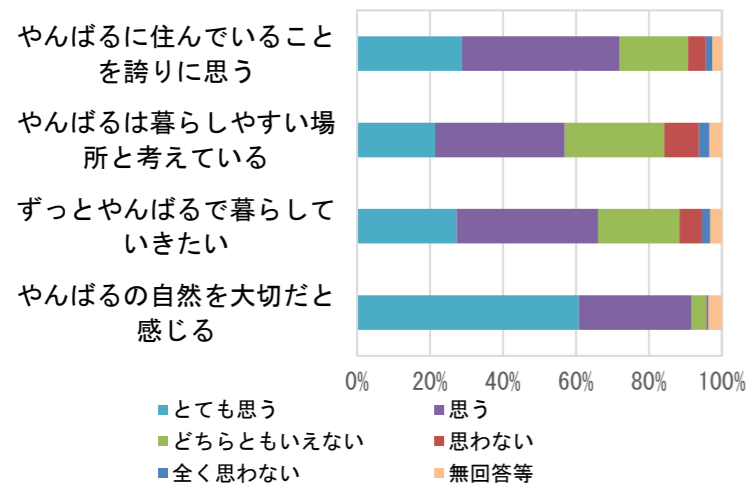


やんばるにおける暮らしや自然についての意識、重要課題についての認識

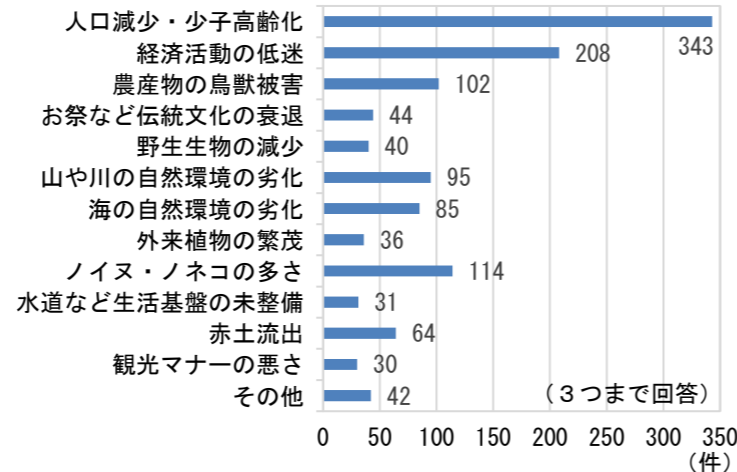
やんばるでの暮らしに関する意識では、7 割以上の方がやんばるに住んでいることを誇りに思っていることが分かりました。また、やんばるの自然を大切であると、9 割以上の方が感じていました。

やんばるの抱える課題として、人口減少・少子高齢化、経済活動の低迷が重要課題とする意見が多く、続いて、ノイヌ・ノネコの多さが続きました。「その他」の回答には、基地問題を挙げる意見が多く見られました。

やんばるにおける暮らしや自然についての意識



やんばるの抱える課題のうち、重要な課題は何か



地域活動や保全活動、講演会等への参加状況

この 1 年間での地域の活動や自然を守るための活動などへの参加状況として、ゴミ拾いなど地域の美化活動へ参加された方が多い傾向が見られました。自然等の観察会への参加は約 19.9%、世界遺産登録に関する講演会や沖縄島北部部会には約 18.8%、の方が参加していました。林道のパトロール等や外来種駆除に参加した方はそれぞれ 9.7%、6.5%であり、積極的な保全活動に参加している人も一定数いました。

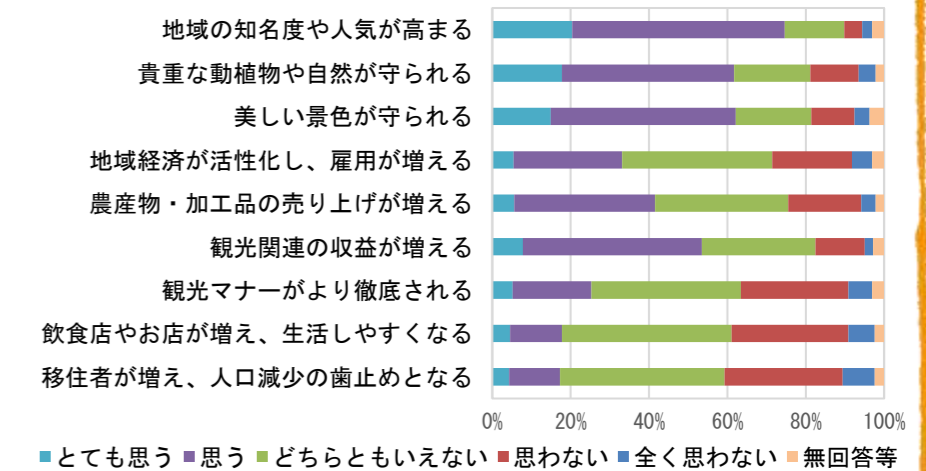
活動内容	回答数	比率(%)
ゴミ拾いなど地域の美化活動	291	63.0
自然や生きものの観察会	92	19.9
林道のパトロールや巡視	45	9.7
外来植物の抜き取り作業など 外来種駆除	30	6.5
世界遺産登録に関する講演会や 沖縄島北部部会	87	18.8

※比率は母数をアンケート回収数（462）として便宜的に算出したもの。この母数には無回答者が含まれるため、実際の比率はより高くなる。

やんばる地域が世界自然遺産に登録された場合に期待できること

世界遺産登録に期待できることとして、約 74.7%が地域の知名度や人気が高まると考えていることが分かりました。貴重な自然や動植物が守られること、美しい景色が守られると期待できると回答した方が 6 割を超え、自然環境保全への期待がある程度あると考えられます。

やんばるが世界自然遺産へ登録された場合に期待できること

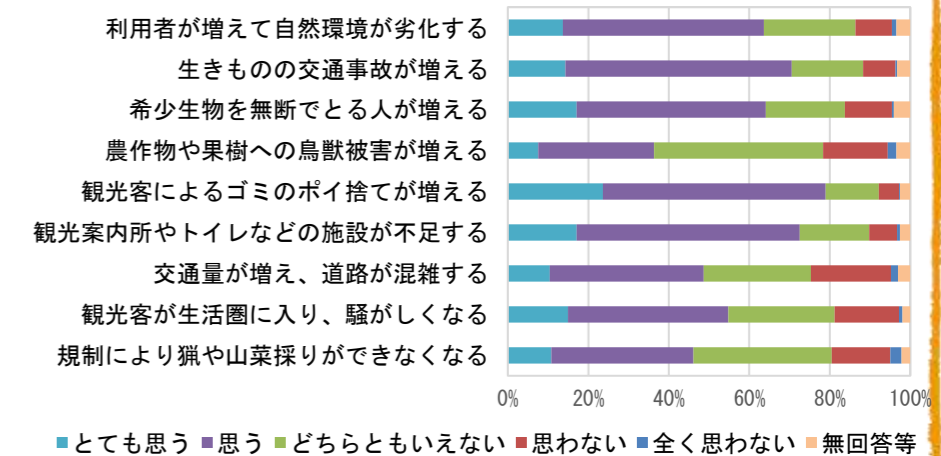


一方、地域経済活性化や、移住者増加・人口減少の歯止めになると思う方は、それぞれ約 33.1%、約 17.3%と、世界遺産登録が地域の重要課題の改善につながることは認識されていませんでした。

やんばる地域が世界自然遺産に登録された場合に懸念または心配すること

世界遺産登録された場合に懸念または心配することとして、自然環境の劣化や生きものの交通事故が増えること、希少生物の違法採取が増えると思う方は、それぞれ 6 割を超える結果となりました。

やんばるが世界自然遺産へ登録された場合に懸念または心配すること



また、観光客によるポイ捨てが増えることを心配する意見が約 79%、観光客が生活圏に入ることを心配する意見が約 54.8%あり、観光客のマナーを懸念する方も多いことが分かりました。

まとめ：やんばる地域の世界自然遺産への登録に対する意識調査の結果、約 63%の方が世界遺産登録を好意的に捉えていることが分かりました。やんばる地域の特に重要な課題は、人口減少・少子高齢化と経済活動の低迷であるものの、世界自然遺産への登録はこの地域の課題解決につながると認識している人は少ない状況であることも明らかになりました。また、大多数の地域の方がやんばるの自然を大切に感じており、6 割以上の方が世界遺産登録により自然や生きもの、景色が守られることを期待する一方、自然環境劣化や生きものの交通事故、違法採取が増加することを懸念していました。世界遺産登録に向けた取組を自然環境の保全や地域の活性化につなげ、地域の課題を解決する糸口にしていくことが重要です。